

2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 2 月 5 日作成)

小委員会名	合成構造設計規準作成小委員会		主 査 名：福元敏之 就任年月：2011 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 鋼コンクリート合成構造運営委員会		委員長名：中島正愛 主 査 名：河野昭彦
設 置 期 間	2011 年 4 月 ～ 2013 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・(目的) 合成構造規準・指針類の親規準としての合成構造規準を作成・刊行 ・(2011 年度) 合成構造規準の内容検討および原稿作成 ・(2012 年度) 合成構造規準の原稿作成および査読修正 		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無し		
	主査：福元敏之(鹿島建設) 幹事：河野昭彦(九州大学)・鈴木英之(安藤建設) 委員：毛井崇博(九州工業大学)・塚 純一(福岡大学)・称原良一(清水建設)・津田恵吾(北九州市立大学)・土井希祐(新潟大学)・西村泰志(大阪工業大学)・蜷川利彦(九州大学)・福田孝晴(鹿島建設)・山田 哲(東京工業大学)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2012 年度予算	120,000 円	ホームページ公開の有無：無し 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	『合成構造設計規準』原稿案に関して、本会HPにおいて会員に意見募集を実施(2012年11月)
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	当初目的：合成構造に関する親規準としての内容を検討し、規準原稿を作成 成果：今後の新たな合成構造の開発にも資することも含め、親規準として、設計クライテリアや異種部材の接合メカニズム等の基本的な内容を検討し、その際、土木分野や諸外国の規準類を調査検討を行い、『合成構造設計規準』原稿を作成。
委員会活動の問題点・課題	今後の課題としては、本規準が親規準として定着するように、CFT 規準の作成等の子規準の整備が必要。